



# 営農ウィークリーNEWS

## JR大阪駅全農みのりみのるマルシェ開催！！

9月27日（土）にJR大阪駅で全農みのりみのるマルシェが開催され、京おくら・京都茄子を中心に京丹後梨や万願寺甘とうなど京都府各地の農産物が販売されました。  
 万博の影響もあり、多くの来場者で賑わい、500人を超える来場者数となりました。  
 特に「京おくら」をお買い求める方が多く、「京都にオクラがあるなんて知らなかった。知り合いに配りたい」と大量に購入される方もおられました。



## —TAC information— 2025年産契約米検査開始



9月29日より2025産契約米検査を開始しました。  
 検査数量は、9月末時点で3.2トン。登熟期の高温の影響と思われる白未熟粒や斑点米カメムシ類による着色粒の混入が多く見られています。検査実績は、1等が13.9%、3等が43.6%、規格外が42.5%となっています。



# クビアカツヤカミキリにご注意を！

9月26日に京都市よりクビアカツヤカミキリによる伏見区での被害報告が発表されました。万一、被害が疑われる樹木等の情報提供をお願い致します。

<報道発表資料>

令和7年9月26日

京都市環境政策局環境企画部環境保全創造課

## 特定外来生物クビアカツヤカミキリによる伏見区での被害木の確認

京都市伏見区において、特定外来生物クビアカツヤカミキリによる被害を初めて確認しましたので、注意喚起のためお知らせします。

### 【被害木確認の経緯】

伏見区深草祓川町の市民から、クビアカツヤカミキリの被害が疑われるモモ（庭木）について通報がありました。市職員が現地を調査し、専門家に鑑定を依頼したところ、クビアカツヤカミキリの被害と判断されました。

なお、被害木には幼虫捕殺などの防除措置を講じています。

### 【今後の対応】

- 被害木について、内部に6匹の幼虫を確認するなど被害が大きいことから、成虫の拡散防止のため、伐採を所有者に御検討いただくなど、更なる防除措置を実施します。
- 被害木の周辺地域を調査するほか、サクラ、ウメ、モモなどのバラ科樹木を植栽されている方々に向けた注意喚起を強化するとともに、被害が疑われる樹木等の情報提供を呼び掛けます。
- クビアカツヤカミキリと疑われる昆虫やその痕跡（フラス）を発見された場合は、以下情報提供フォームから、情報提供いただきますようお願いいたします。下記問合せ先の電話やメールでも情報提供いただけます。

<特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」情報提供フォーム>

<https://ikimono-museum.city.kyoto.lg.jp/report-kubiaka/>



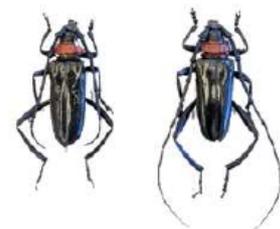
今回確認した被害木



### 【特定外来生物クビアカツヤカミキリについて】

クビアカツヤカミキリは、外来生物法に基づく特定外来生物に指定されており、サクラやウメ、モモなどのバラ科樹木を食害し、枯死させる昆虫です。

4月～10月はクビアカツヤカミキリの幼虫が樹木の幹や根からフラスを排出する時期であり、特に6月～8月は成虫が発生する時期です。



クビアカツヤカミキリ（成虫）